

教科書の構成

導入

単元扉のページ

思いや願いをもち、学習を見通す



注目

見比べたくなる工夫

季節の変化と生活、地域と生活を扱った単元では、定点から捉えた写真・イラストを掲載。季節を比べて考えることで、さまざまな気づきが生まれます。

注目

保護者の皆様へ

保護者の方に向けて、その単元を学習するねらいや、具体的に協力を呼びかけたいことを示しています。家庭との連携に役立てることができます。

写真・イラスト

学習対象との出会いが楽しくなる

ダイナミックな写真や楽しいイラストでイメージが広がり、思いや願いが耕されます。

夏は、プールが 楽しみだな。

あつ、セミだ。 近くの公園で、 見たことがあるよ。

こんなとき、こう使う

- ・単元開きに、みんなで見ながら自由に話し合う。
- ・写真やイラストをヒントに、知っているものや好きなもの、経験を語り合う。

単元名・単元の問いかけ

学習を見通し、思いや願いにつながる

単元名や問いかけについて考えることで、具体的な思いや願いにつながっていきます。

いろいろな 水遊びを したいな。

たくさん夏を 見つけたい！

やりたいことが いっぱいあるね。 夏と友達になれるかな。

こんなとき、こう使う

- ・活動の見通しをもつきっかけとして、みんなで単元名に着目する。
- ・単元名や問いかけを、学習計画を立てるときの参考にする。

展開

学習活動のページ①

体験活動を通して学びを深める



注目

きをつけよう

安全や健康に関わる、必ず参照してほしい情報を「きをつけよう」にまとめました。また、アニメーションや動画で分かりやすく解説する QR コードコンテンツも位置付けています。



注目

ヨシタケさんのコーナー

子どもたちの思いの活動から伝わるのは、「うまくいかなくても大丈夫。」「人と違っていいんだよ。」というメッセージ。楽しみながら読むことで、自分らしく学ぶことの大切さを知ることができます。

小単元名・活動のめあて・写真

どんな活動をするかが、ひと目で分かる

簡潔に活動を示す「小単元名」と、課題意識を醸成する「活動のめあて」を設定しています。



こんなとき、こう使う

- ・小単元の導入時に児童と一っしょに確認することで、学習活動のイメージをもち、意欲を高める。
- ・活動のめあてを板書計画の参考にする。

学び方のヒント

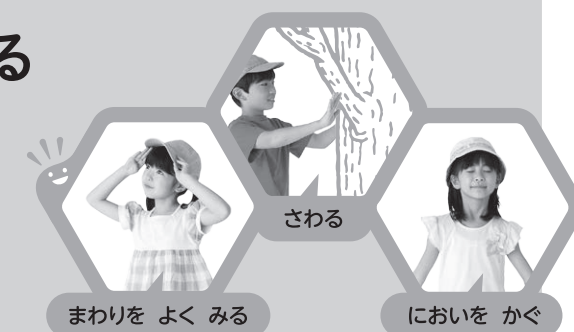
試行錯誤のポイントが分かる

児童が活動の中で考えを深めるための手がかりを示しています。



こんなとき、こう使う

- ・児童の活動が停滞しているときに、参照させたり声かけをしたりする。
- ・活動をさらに深めたり、バリエーションを出したりしたいときの参考にする。



展開

学習活動のページ②

豊かに表現する、小単元を振り返る

はなや くさで あそぼう



46



47

記録カード・表現の例

記録や表現の工夫が分かる

児童の発達段階や学習活動に応じた、記録カードや表現の例を豊富に提示しています。



このカードの形式をそのまま使ったり、参考にしてアレンジすることもできますね。

こんなとき、こう使う

- ・児童が記録したり表現したりするときに、イメージをもったり、見本にしたりする。
- ・教師が、授業準備をする際の参考にする。

こんなことは あったかな

学習指導要領で示された学習活動を分析し、振り返りのための14の観点を設定しました。



知識及び技能の基礎 思考力、判断力、表現力等の基礎 学びに向かう力、人間性等

ふりかえろう

感情と思考を 次の学びにつなげる

全ての小単元に振り返りの場を設定しています。

感情と思考・態度の面から振り返ることで、次の学びにつなげます。

負けたけど、友達のと比べてみたら、強いオオバコの秘密が分かったよ。もっとやりたいな。

比べて分かったんだね。すごい。次の時間に、もう一回やってみよう。



注目

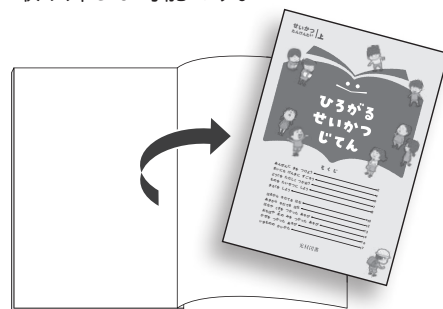
取り外せる別冊資料編 ひろがるせいかつじてん

単元に即した資料や汎用的なスキルを扱った資料を、別冊資料編にまとめました。授業のねらいや、児童の必要に応じて、自在に活用できます。本編には、

マークを付して、別冊の関連ページを参照しやすくしました。



別冊資料編は、教科書末尾に付属。取り外しが可能です。



はなや くさで あそんで、どんな きもちに なったかな。



感情の振り返り 気持ちといっしょに振り返るため、次につながる思いや願いをもつことができます。

思考・態度の振り返り 学習指導要領に基づいた観点のため、評価や見取りに生かれます。

こんなとき、こう使う

- ・振り返りのときに参照させることで、思いや思考の過程が明らかに。
- ・振り返りの表現から、児童の状況を見取り、支援や評価につなげる。

振り返り

単元末のページ

単元の学びを、自分の言葉で語る



50

51

注目

たのしい まいにちに つなげよう

単元の最後には、「たのしい まいにちに つなげよう」を設けました。単元で学んだことを、日常生活で生かし、生活を豊かにするためのヒントを提示しています。

注目

もっと やって みよう

単元の活動を補充したり差し替えたりして 活用できるコラムです。雪や氷を使った遊び、哺乳類・鳥類の飼育、幼保小の交流会など、地域や学校の実態に応じて活動に取り入れることが可能です。

単元全体の振り返り ①対話の中で振り返る

活動を語るための言葉を耕す

自分の活動をさまざまな対話の中で振り返ることで、言語化につなげます。

私は、
しゃぼん玉がいちばん
おもしろかったな。

ゆいさんは、いろいろな道具で
試していたよね。
最後はたくさんしゃぼん玉を
飛ばしていたね。

こんなとき、こう使う

- ・児童が振り返るときに、視点のヒントとして参考にすることで、自分や友達の成長に気付く。

単元全体の振り返り ②自分の言葉で表現する

活動をまとめ、自分の成長を実感する

対話したことをもとに、多様な表現で活動をまとめることで、自分の成長を実感します。

しゃぼん玉は、幼稚園のときに
したことがあったけど、
いろいろ試して、
もっと楽しくなったよ。

たくさん発見があったね。
ゆいさんは、
しゃぼん玉名人だね。
秋には、どんな遊びができるかな。

こんなとき、こう使う

- ・単元の振り返りとして、活動の履歴を自分の言葉でまとめるときの参考にする。
- ・教科書の例を参考に、教師がねらいにあった表現形式を選ぶ。